2020年　アルミ製品、伸銅品、非鉄金属スクラップ
関西地区の市場動向　課題と展望

アルミニウム製品や伸銅品は、日々の生活や産業の進展において多大な役割を果たしている。一方、アルミや銅などの非鉄金属スクラップは、資源リサイクルにおいて循環型社会の実現に欠かせない。関西地区でのアルミニウム製品流通、伸銅製品流通、非鉄金属スクラップ業界の各団体から、代表者である竹内成介大阪軽金属商協会会長（三和金属代表取締役会長）、久野実大阪伸銅品問屋組合理事長（久野産業社長）、橋本健一郎関西非鉄リサイクル協同組合理事長（橋本アルミ取締役）の3氏に「2020年の業界の課題と展望」について話を聞いた。（白木　毅俊）

大阪軽金属商協会

竹内 成介会長（三和金属会長）

車両向けなど需要増見込む
知恵を出し、苦境乗り切るべき

――まず、2019年のアルミ製品業界の回顧から。

「これはわれわれアルミ業界に限った話ではないが、米中貿易摩擦が1年を通して強く影響したように思う。台風による被害も多かった。10月12日に日本に上陸した『台風第19号』は、特に関東・甲信・東北地方などで甚大な被害をもたらした。一方で、10月には消費税が8%から10%へと引き上げられた。当初、一定程度の仮需が出るだろうと見ていたが、現実には仮需はほとんど出なかったように思う」

「2019年暦年アルミ圧延品（板材・押出類）生産は上期段階で前年同期を下回った。自動車関連は乗用車のアルミ需要増加で堅調だったが、半導体製造装置用厚板などは大幅に落ち込んだ。建設関連ではサッシ向けが低調だったが、防災・減災対応のブロック塀のアルミフェンスの荷動きが良かった」

――労働環境を大きく見直す取り組み、「働き方改革」が注目されている。これは大企業のみではなく、中小企業を含む全企業での対応が必要ですが…。これについては。

「働き方改革が注目されている中、メーカー各社は労働時間を短縮しつつ生産性向上を図るという命題に取り組んでおられる。大阪軽商会会長として製販両者の連携に努めたい」

――さて、2020年の業界の見通しを。

「先般、アルミメーカー4社首脳から2020年需要見通しを聞く機会があったが、皆さんはいずれも『2020年の需要は厳しい』とおっしゃった。私もその見通しの通りと感じている。ただ、需要環境は厳しいだろうが『知恵を出し戦略を練り乗り切っていくべき』だと思っている。例えば業界の課題でもある物流問題では、ホワイト物流（荷主企業・物流業者などの関係者が連携して相互に改善を提案し協力して物流を改善する取り組み）などがヒントになるだろう。流通業は在庫と運送体制がいわば生命線であり、強力なネットワークは各社の業容改善に直結するはずだ。アルミ業界の業容は案外まだら模様であり、すべてが良くないというわけでもない。車両など特定の業種は非常に堅調で、2020年は前年よりもさらに需要増が見込める。首都圏の高層ビルなど建材製品需要は大手ゼネコンが10年先まで物件を抱えていると聞く。少し楽観的かも知れないがこの1年、アルミ製品需要が拡大すれば非常にありがたい」

大阪伸銅品問屋組合

久野 実理事長（久野産業社長）

AI・IoTなどで需要増加
適正価格で販売することが大事

――まず、19年の伸銅品業界を振り返ってもらえば。

「伸銅製品需要は1年間を通して低調で、全体的に荷動きの悪さが目立った。伸銅品需要は前年比で約1割は落ち込んだように思う。市中では『リーマンショック級』との声もあったほどだ。マクロ的には米中貿易摩擦や中国経済の失速が大きく影響し、春から夏にかけて減速感が強まった。半導体製造装置、機械設備などの需要が減少したほか、それまで好調に推移していた車載関係も夏場以降は調整局面を強いられた。水栓金具、ガス機器の需要も減少気味だった。ただ、全国的な猛暑によりエアコンの需要は18年に続き19年も好調。学校の空調工事も堅調だった。19年10月からの消費税率10%への増税では、駆け込み需要も特に生じることはなかった。新設住宅着工戸数（1～11月）は前年同期比で3・6%の減少だった。2019年1～11月伸銅品生産動向は全体で69万3188ｔとなり前年同期比8・1%減だった」

――業界の課題は。

「伸銅品業界は歴史が古く、我々流通はこれまでメーカーと共にものづくりに携わってきた。人件費や物流費などの諸コストが高騰する中、いかに販価へ転嫁していくかが課題だと思う。流通各社ともに、会社の存続を図っていくためには、適正価格でしっかり販売することが大事だ。適正価格は各社によって違ってくるが、しっかりと対応していかねばならない」

「欧州環境規制（RoHSⅡ指令）に伴い、環境対応型の鉛レス製品への切り替えの動きが出ている。そういう動きへの素早い対応が大切になる。扱う商品の増加はリスクにもなりうるが、それよりも一つの大きなチャンスと捉えるべき。一方、輸送問題は『運んでもらえない』『運賃が高騰の一途』と嘆いていても解決しない。地方の問屋との業務提携、配送の工程を見直し加工品を運ぶなど、柔軟に対応すべきだと思う。一部メーカーの再編では、経営主体が変わり企業規模もより大きくなる。流通や顧客の声が届きにくくなるのでは、と懸念している」

――2020年の見通しを。

「米中貿易摩擦は根が深く、不透明感が強い。ただ、伸銅品需要はAI、IoT、自動車の電動化などの面で、中期的には必ず伸びる。水栓金具やバルブは昨年秋以降、大手メーカーおよびユーザーの在庫調整が進んでいて、ゆっくりとしたペースだが、需要低迷状態からは脱するのではないか。全般的には我慢の時期がしばらく続くだろうが、本格的な需要回復を期待している」

関西非鉄リサイクル協同組合

橋本 健一郎理事長（橋本アルミ取締役）

スクラップの「地産地消」PR
「リサイクル金属」など、イメージ向上へ

――昨年、名称を「関西非鉄リサイクル協同組合」としました。

「名称変更の狙いは2点。エリア拡大でより実態に近い『関西』を付けた。2点目はキーワード『非鉄』で業界としてブランディングの確立を目指した。現在の会員数は正会員63社、賛助会員5社で合計68社。令和の新時代に組合の一層の活性化を図っていく」

――次に、19年の非鉄スクラップ業界の回顧を。

「昨年は米中貿易摩擦戦争の動向に振り回された1年だった。銅スクラップを見てみれば19年年初、指標の電気銅建値は69万円で始まりLME銅相場が約6千㌦だった。4月には銅建値が77万円、LME銅が約6500㌦へと上伸した。4月までは小康状態だったが、5月の米中貿易戦争第二幕を機に相場が軟化した。19年12月時点で銅建値は68万円、LME銅相場が約5800㌦だ」

「19年は銅スクラップ発生が減少した。自動車生産も落ち込んだ。このため18年のような業容の堅調は見られなかった。黄銅削粉は市中在庫が積み上がっているが、メーカーの生産減、商品位指向が影響している。アルミも19年はNSP地金が軟調だった」

――業界の課題は。

「国内で出たものは国内で使う『地産地消』をPRしたい。2020東京五輪・パラリンピックでアスリートに授与される入賞メダル（金・銀・銅合わせて約5千個）はすべて都市鉱山が素材。一方、再生紙を使った名刺には、『R100、古紙パルプ配合率100%再生紙を使用』などと表記される。再生紙の名刺は割高だが、イメージが向上するためこぞって使われる。金属でもそういう動きが出ればありがたいのだが…。例えば『リサイクル金属』『リサイクルメタル』などの名称を付けることで、認知度の向上が有益なのでは…。金属スクラップが『折角リサイクルしたのに買ってもらえない』『ハンドリングが悪い』ことは、重々承知だ。しかし、メーカー責任という観点でメーカーは使う義務があると思う。効率一辺倒でもしその努力を怠れば、不法投棄がさらに増えてしまう。状況改善のため、メーカーや社会への啓もう活動は欠かせない」

――今年の展望を。

「米中貿易戦争は、11月3日の米・大統領選挙に向けて両国の駆け引きが続くだろう。どうやら今年も米中貿易戦争を引きずった1年になりそうだ。日韓の2国間の問題で影響が出始めた。原料問題ではモノが売れない状況に直面しており、収益はバブル崩壊時のように悪化している。ただ、関西では2025年の大阪万博があり、楽しみだ」

鉛レス快削黄銅棒・カドミレス快削黄銅棒
鉛フリー快削アルミ合金棒など、RoHS指令対応品も豊富に在庫
※各サイズ取りそろえております。

FS565790/ISO9001:2015
EMS565789/ISO14001:2015
大阪本社・八尾工場のみ対象

創業1919年
素材から加工まで
非鉄の事ならお任せ下さい。
（伸銅品・アルミ・ステンレス）

http://www.kuno1919.com
久野産業株式会社
大阪本社 〒542-0082 大阪市中央区島之内2－10－27 TEL.06-6211-3331 FAX.06-6213-2556 Mail:osakakross@kuno1919.com
東京支店 〒124-0012 東京都葛飾区立石3－6－7 TEL.03-5654-0451 FAX.03-5670-6201 Mail:tokyo@kuno1919.com
東北出張所 〒021-0901 岩手県一関市真柴字古ケ沢24－22 TEL.0191-48-4182 FAX.0191-48-4183 Mail:tohoku@kuno1919.com

頌春
2020

otc
New Challenge　Best Quality
これまでも、これからも
新たな挑戦と最高の品質を求め続けていく
株式会社 大阪チタニウムテクノロジーズ
代表取締役社長 杉﨑康昭
本社・尼崎工場 〒660-8533 兵庫県尼崎市東浜町1番地 TEL.06-6413-9911 FAX.06-6413-4343
岸和田製造所 〒596-0016 大阪府岸和田市岸之浦町3番2 TEL.072-479-3010 FAX.072-479-3050
東京支社 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目18番16号 住友浜松町ビル8階 TEL.03-5776-3101 FAX.03-5776-3111
http://www.osaka-ti.co.jp/

非鉄金属・防蝕材料・化学品
山中産業株式會社
代表取締役社長 山中直理
本社 〒541-0042 大阪市中央区今橋2丁目5番8号 トレードピア淀屋橋 電話 06－6125－6501番
東京支店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4丁目12番20号 PMO日本橋本町 電話 03－5643－1743番
中部営業所、三田製錬事業所、淀川事業所、東京流通センター
http://www.yamanaka.co.jp/

MS 伸銅品：板・条・棒・線・二次加工品
アルミニウム：アルミ押出形材
三谷伸銅株式会社
取締役社長 高原一紀
本社・工場 京都市南区上鳥羽大柳町1番地1 TEL075-681-3331 FAX075-681-5186
営業部 京都市南区上鳥羽大柳町1番地1 TEL075-681-5206（ダイヤルイン） FAX075-681-5186
東京支店 東京都台東区浅草橋1丁目12-4（東陽東鋼金物ビル4階） TEL03-5833-7511 FAX03-5833-7514
名古屋営業所 名古屋市中区栄4-1-8 栄サンシティビル16階 TEL052-238-3153 FAX052-259-2601

Ogico 産業資材の流通チャンネル
銅・黄銅・鉛・錫・ニッケル
アルミ・非鉄金属全般
株式会社 扇谷
OGITANI Corporation
本社 大阪市西区土佐堀1-3-7 肥後橋シミズビル TEL(06)6444-1521～1530（ダイヤルイン）
東京支店 東京都千代田区神田錦町3-15 NTF竹橋ビル TEL(03)5282-1800
名古屋支店 名古屋市千種区内山3-29-10 千種AMビル TEL(052)688-0557
海外 シンガポール、香港、タイ、マレーシア、フィリピン、台湾 中国・深圳、中国・上海、ベトナム
URL:http://www.ogico.co.jp